

奈良教育大学同窓会会報

まほろば

第28号



目次

○会長挨拶、平成27年度活動方針	2
○学長挨拶	3
○平成26年度会務報告	4
○平成26年度一般会計決算書	5
○支会だより	6
○同窓会だより	8
○研修会だより	11
○事務局だより	12

2016年
同窓会総会のご案内

■と き

平成28年5月15日(第3日曜日)
午前10時から

■ところ

奈良教育大学 山田ホール 他

○出席者は、準備の都合上、
5月6日(金)までに事務局へ
お申込みください。

❖ 「開かれた魅力ある同窓会」を目指して ❖

会長 中 谷 要



私たち奈良教育大学同窓会は、今年127歳を迎え永い歴史と数多くの先輩教員を擁する、誇れる同窓会として、会員の心のよりどころとなる会に成長しております。

本会が「開かれた魅力ある同窓会」として更に、充実・発展していくことを願い様々な活動を進めておりますが、会員の皆様ひとりひとりの自覚とあたたかい絆で結ばれていることを信じてその運営に努力しているところです。

事業活動には5分野の事業活動委員会があり、会員の支援・協力によって企画運営がなされています。「魅力ある」事業活動にするには、なお一層の刷新を試みなければならないと考えています。

- ・各支部の会員の積極的な参加を勧めるために評議員の活動を促す。
- ・事業活動委員会の企画運営に積極的に参加を勧めるため広報による周知をはかる。
- ・機関誌の内容を精査し充実をはかる。
- ・会員相互の親睦・研修を深め同窓会員としての充実感を高める。
- ・学生の事業活動への積極的な参加を勧めるため大学教員の協力支援を求める。

しかし、事業をすすめるにあたり、財源を伴わなければ活動そのものが机上の

ものになってしまいます。その財源を求めるため皆様に、総会時ご提案いたしました、85歳以上の会員及び学生の入学時に同窓会に入会し年会費を一括納入いただく方策を快くご承認いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

また、各支会の評議員の先生方のご努力に期待し年会費未納の会員の会費の完納をお願いしたいのです。会の財政に少しでもゆとりができれば、ひいては事業活動が充実することになり、魅力ある同窓会に発展していくものだと考えます。

平成27年度は、種々の面から会の刷新を図るために会則を見直し今まで習慣のようになっていた事柄や支会と評議員との役割などいくつかの改定を提案しました。それについてもご承認いただきました。

会長を仰せつかり2年目を迎えます。責任の重さを痛感している毎日です。

- ・每年会費を納入くださっている会員への支援
- ・年会費納入による財源の増収確保
- ・各支会の年会費徴収の評議員活動への事務費
- ・学生の同窓会活動への参加と学生との交流

など、具体的なことをひとつひとつ積み重ねながらこの1年責務に心を注いで参ります。

平成27年度 活動方針

国立大学法人奈良教育大学の同窓会は、会員相互の親睦を図り教育並びに社会の進展に寄与することを目的とする。また、大学の運営方針に添って協力し、更なる発展を目指す。

- 理念
- 会員相互のふれあいを大切にし、親睦を深める。
 - 学び合い、語り合う場を設定し、互いに教養を高める。

基本方針

同窓会活動及び、各支会活動の充実発展を骨子とし、参加勧誘を働きかけ、会の運営・維持に努力することを基本とする。

重点目標

1. 同窓会員として、豊かな人格を目指し会の発展に寄与する。
2. 会の運営・充実を図るため、年会費の増額・増収に努める。
3. 支会活動の活性化を目指し、充実を図る。
4. 同期同窓会の組織運営の強化を図り、深める。
5. 大学の発展と同窓会としての目標達成に支援し協力し合う。

教員養成改革の新たな局面：その2

学長 長 友 恒 人



同窓会会員の皆様、奈良教育大学への物心両面にわたる日頃のご支援に心から感謝申し上げます。

昨年のご挨拶で、「教員の養成・研修を含めて教育全般に及ぶドラスティックな『改革』が求められるめまぐるしい動向」についてご紹介しました。

本学でも、大学院教育学研究科を教職大学院(専門職学位課程)に段階的に重点化することとし、来年度には大学院の小規模な改組を実施します。主な内容は、教職大学院に特別支援教育コースを設けて修士課程の特別支援教育は夜間主とすることです。これに伴って、1年コースの特別支援教育特別専攻科の募集を停止します。修士課程では「実践的科目」と「教育課題探求科目」を導入し教育実践力の育成を図ります。平成32年度を目途に、さらに教職大学院への重点化を図る予定で検討に入ります。

いじめ・不登校問題など教育の現代的課題や小学校英語の教科化、ICTを活用した教育、特別支援教育など新たな教育課題に対応する教育課程を編成することが求められています。また、小中一貫教育や高大接続の課題も提起されています。これらの課題についての教育は大学単独ではなく、教育委員会や学校との共同がより効果を上げるでしょう。奈良県教育委員会や市町村教育委員会、学校現場と緊密に連携して取組を強めることにしています。

このような流れのなかにあって、教育における「不易と流行」という言葉をもう一度考える必要を感じます。同じことを昨年度のご挨拶でも申しましたが、ことほど左様に「教育における不易」を心に刻むことが重要になっているのだと思います。

「子供たちはあなたが教えようとしたことを忘れてしまう。しかしあなたという人間を覚えているものだ。」と言ったのは、操り人形師ジム・ヘンソンです。私たちは学生たちが子どもの心に響く教育ができる教師となることを願っています。「20歳だろうが80歳だろうが、とにかく学ぶことをやめてしまったものは老人である。学び続ける者は、みな若い。」と言ったのは、自動車王ヘンリー・フォードです。私たちは、「学ぶ喜びを知り、自ら学び続ける」教員を育てたいと願っています。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝と同窓会のご発展を祈念し、母校のために物心両面からのご支援とご指導を今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成26年度 会務報告

- | | | | |
|--------------|---|--|---|
| 4月3日 | 臨時理事会 平成26年度の役員構成について | | (大学祭開催) |
| 4月4日 | 大学入学式
教育学部 270名
大学院 60名
特別支援教育特別専攻科 13名
合計343名 | | 11月5日 第5回本部役員会 講演会に向けて・会則改正について |
| 4月7日 | 会計監査 西田会長立会のもと
監事 伊東和彦氏・山田恵敏氏より監査を受ける | | 11月14日 講演会の会場準備 |
| 4月9日 | 第1回本部役員会 平成26年度の役員構成について | | 11月15日 第14回公開文化講演会参加者 43名
演題「心の世界ーものをみる心ー」
講師 奈良教育大学教授 豊田 弘司 先生 |
| 4月16日 | 第2回本部役員会 平成26年度の副会長を5名に決定 | | 11月16日 大阪市興東会退職校長会総会 |
| 4月19日 | 大阪市興東会総会 | | 11月19日 第4回広報活動委員会 |
| 4月22日 | 理事・評議員会 29名出席
平成26年度総会に提案する議案を討議検討 | | 11月27日 大阪市奈良教育大学同窓会 |
| 4月27日 | 天理支会 | | 11月29日 磯城支会 |
| 5月12日 | 第3回本部役員会 総会に向けて | | 11月30日 郡山支会 |
| 5月16日 | 総会資料綴り作業 | | 12月6日 奈良支会 |
| 5月17日 | 総会に向けての会場準備
生け花 松原副会長・染井理事 | | 12月23日 年忘れ研修会 ホテル美松 24名 中谷副学長ご臨席 |
| 5月18日 | 平成26年度総会 会費納入88名
総会では、同窓会活性化に向けて活発な意見が続出した。
総会後のアトラクション | | 1月14日 第6回本部役員会 |
| 5月26日 | 第1回広報活動委員会
会報「まほろば」27号編集会議 | | 1月24日 大阪市興東会新年総会 |
| 5月28日 | 新旧会長引継会 | | 2月4日 第5回広報活動委員会 |
| 6月5日 | 第4回本部役員会 | | 2月13日 第7回本部役員会
会則改正に向けての協議 |
| 6月9日 | 第2回広報活動委員会編集会議 | | 3月9日 同窓会への入会を呼びかけるポスターを校内、生協へ依頼し掲示する。 |
| 6月12日 | 理事・評議員会理事14評議員3 | | 3月20日 第2回組織対策委員会
第8回本部役員会 合同会議
終身会費制度についての協議 |
| 6月17日 | 第3回広報活動委員会編集会議 | | 3月24日 入会事務準備
卒業式後の入会事務に向け準備 |
| 6月23日 | 会報「まほろば」27号発行 | | 3月25日 奈良教育大学
卒業証書、学位授与式
卒業生 346名
教育学部 266名
大学院教育学研究科 67名
特別支援教育特別専攻科13名 |
| 7月28日 | 臨時理事会 | | 入会手続き事務
入会者 109名、昨年132名
会費納入者105名、昨年101名
中谷会長、松村・中川両副会長
式典に参列。総勢19名の皆さん
にお世話になり、入会事務を行
う。入会者は昨年より23名下回
り、会費納入者は4名増加した
が、本会運営は厳しい状況にな
った。 |
| 8月23日 | 東大阪支会 | | |
| 8月25日 | 臨時評議員会 | | |
| 9月17日 | 電話機設置 番号 0742-21-6101
ファックス番号 0742-21-6102 | | |
| 9月30日 | 大学 中間卒業式
卒業生 10名
同窓会入会者 6名 | | |
| 10月7日 | 第1回組織対策委員会
会費納入者の拡大に向けて議論 | | |
| 10月31日～11月2日 | 第65回“輝葉祭” | | |

平成27年度 奈良教育大学同窓会役員

- 【顧問】** 長友 恒人(学 長)・長田 光男・西田 史朗
【会 長】 中谷 要
【副会長】 松村 恵司・中川 克己・吉田 貴子・松原さおり
【会 計】 久保三左男
【委員長】 森 康雄(組織対策)・吉田 誠(大学渉外)・松村 恵司(会合企画)
 吉田 貴子(研 修)・橋本 清(広 報)
【監 事】 野阪 雅美・大澤 清

平成26年度 奈良教育大学同窓会一般会計決算書

(平成26年4月1日～
平成27年3月31日)

(歳入の部)

単位：円

款	項	本年度予算額 (A)	本年度収入額 (B)	比較増減額 (B-A)	備 考
会 費		4,060,000	3,820,970	△239,030	
	1 通常会費	3,560,000	3,414,970	△145,030	870 × 23 = 20,010 4,000 × 1 = 4,000 920 × 4 = 3,680 4,870 × 16 = 77,920 1,000 × 1 = 1,000 4,920 × 7 = 34,440 1,870 × 698 = 1,305,260 5,000 × 4 = 20,000 1,920 × 357 = 685,440 5,870 × 1 = 5,870 2,000 × 327 = 654,000 9,270 × 3 = 27,810 2,870 × 91 = 261,170 9,870 × 7 = 69,090 2,920 × 36 = 105,120 9,920 × 1 = 9,920 3,000 × 24 = 72,000 10,000 × 2 = 20,000 3,870 × 3 = 11,610 14,870 × 1 = 14,870 3,920 × 3 = 11,760
	2 入会金	300,000	230,000	△70,000	2,000 × 115 = 230,000
	3 臨時会費	200,000	176,000	△24,000	2,000 × 88 = 176,000
繰 入 金	基金より繰入れ	0	91,208	91,208	
繰 越 金	前年度繰越金	267,183	267,183	0	
利 子	利子及び雑収入	0	13,362	13,362	貯金利子42・雑収入13,320
合 計		4,327,183	4,192,723	△134,460	

(歳出の部)

単位：円

款	項	本年度予算額 (A)	本年度支出額 (B)	比較増減額 (B-A)	備 考
事 務 費		1,470,000	1,509,689	39,689	
	1 報酬	840,000	944,600	104,600	事務局長・事務局員報酬
	2 諸手当	300,000	186,000	△114,000	交通費、諸手当
	3 役員旅費	200,000	330,540	130,540	役員会旅費等
	4 備品費	50,000	9,601	△40,399	コンピュータ周辺機器
	5 消耗品費	30,000	6,276	△23,724	印刷用紙他
	6 通信費	50,000	32,672	△17,328	切手・はがき等
会 議 費		430,000	305,664	△124,336	
	1 役員会費	30,000	20,664	△9,336	役員会、理事会、評議員会、委員会等
	2 総会費	400,000	285,000	△115,000	放送操作、懇親会等
事 業 費		2,285,000	2,305,529	20,529	
	1 会報発行費	2,100,000	2,207,189	107,189	会報「まほろば」27号
	2 会員慶弔費	30,000	6,472	△23,528	
	3 新会員歓迎費	75,000	64,048	△10,952	入会歓迎会費、記念品(筒)
	4 事業活動費	50,000	27,820	△22,180	第14回公開文化講演会
	5 事業基金	30,000	0	△30,000	
予 備 費		142,183	31,860	△110,323	
	予備費	142,183	31,860	△110,323	
合 計		4,327,183	4,152,742	△174,441	

差引現在高 4,192,723－4,152,742＝39,981円(次年度へ繰り越す)

会費納入についてのお願い

同窓会の年会費は2,000円以上です。下記の何れかの方法で納入してくださいようお願いいたします。

1. 直接現金。
2. 同封の振替用紙をご使用ください。
(振替先は00900-2-9400です。できればATMを利用してください。)
3. ゆうちょの貯金口座を持っている方は通帳やカードを使って手数料無料で送金できます。

監査報告

平成26年度の会計決算を詳細に、監査いたしましたところ、諸帳簿等は、よく整備され、正確適正に処理されていたことを認めます。

平成27年4月16日

会計監査 野阪 雅美 ㊞

梅谷 一夫 ㊞

支 会 だ よ り

大阪市興東会退職校長会（会長 土橋義之）

師範学校、奈良学芸大学を卒業した同窓生を基に各地で興東会が結成された。中でも大阪市興東会では、先輩諸氏が多くの業績を残し、大阪の教育発展に寄与してきた。そこで、更に結束を深めるため、昭和62年に坂上先生、谷野先生が中心となり、大阪市興東会退職校長会が組織され、本会は、大阪市教育の発展を祈念し、大阪市興東会の充実発展のため側面から協力すると共に、会員相互の親睦を図ることを目的としている。会員97名が毎年11月に総会を行い、30年を迎える。

平成26年の総会には、来賓として奈良教育大学同窓会長中谷要様、事務局長久保三左男様をお迎えし、大阪市の現職校長も含め39名の参加で開催した。平成27年度の体制が決まり、変化の激しい中にも原点を忘れず、興東会の結束と更なる発展を念じ閉会した。



大阪市興東会新春総会 (庶務 内田 浩)

平成27年1月24日(土)午後2時より、道頓堀ホテルにて、大阪市興東会新春総会を開催いたしました。この会には、奈良教育大学の同窓会長中谷要様、事務局長久保三左男様にお越しいただきました。興東会は、退職校長会役員と幹事、そして現職の校長、教頭の計28名が出席しました。

ご来賓の方々を含め、美酒を酌み交わしながら新春の抱負を熱く語り合いました。



奈良支会 (事務局 上村晴彦)

平成26年度の「奈良支会総会」は、26年12月6日(土)ホテルフジタ奈良で開催いたしました。同窓会本部からは、会長様はじめ7名の参加をいただき、支部の会員と合わせて18名の総会となりました。

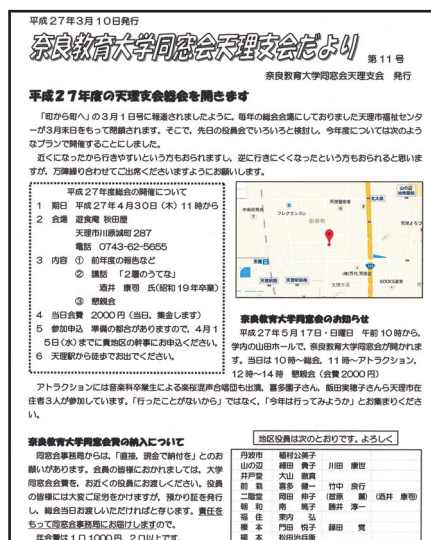
奈良支会の会員は、現役・退職者合わせて500名の大所帯です。今後は総会への出席や会費の納入などもっとアピールしていかなければならないと感じました。

総会後の懇親会は、諸先輩方と和やかな時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



天理支会 (事務局 竹中良行)

天理支会の誕生は平成19年6月、以来、年1回の総会や懇親会を通して、相互の親睦と研修に努めてきた。この総会にお誘いし絆を深めるために役立っているのが「天理支会だより」である。総会の案内や懇親会での様子などを会員にお伝えするA4版1、2枚のものであるが、今回で11号となった。



小さいとはいえ南北に長く東に山間部を含む天理市、会員のお宅を訪ねて配布する役員さんのご労苦は大変である。しかし、お届けしたときに頂ける笑顔がこの仕事を続けさせている。

とはいっても、ほとんど新入会員がないこと、高齢になり自家用車や自転車の使用をやめたことで訪問が困難になったなどの悩みがある。

しかし、同窓会という組織の意義を再確認し、創意工夫を重ね、本部との連携を深めながら、今後も支会の活動を推進していきたいと考えている。

大和郡山支会 (事務局 奥田政俊)

平成26年度総会及び研修会を11月30日、ホテル美松にて、本部同窓会長中谷要様、副会長中川克己様、同吉田貴子様、同松原さおり様、事務局長久保三左男様のご来賓のご臨席を賜り、会員20名の参加で開催いたしました。

始めに、森康雄大和郡山支会会長の挨拶、続いて中谷要本部同窓会長の挨拶、来賓自己紹介の後、会務及び会計報告・承認と進み総会は無事終了しました。

総会後、支会顧問の長田光男先生を講師として“こおりやま「こころゆかしい祭り」と行事”と題し、郡山市内各地の神社の行事や生活文化について、丁寧でわかりやすい講演をしていただき、地元郡山における民俗風土について興味関心が深まりました。



研修会後の懇親会では、キングレコードの歌手星乃由美さんの出演があり下ツ道をテーマにした「風の下ツ道」の熱唱を聴くなど、若さ溢れる明るい歌声と和気あいあいの楽しい雰囲気の宴となり、支会会員相互の親睦が深まりました。

磯城支会 (事務局 吉村 豊)

開催日 平成26年11月29日(日)

中谷会長、久保事務局長にも参加していただき和やかに会が進行しました。会員数は大変多く、昨年より非現職の会員には郵送で総会の連絡をしておりますが、なかなか参加者が増えないのが現状です。出席者一人一人に現況報告をしていただいておりますが、現職時代の思い出や現在の生活について等いろいろなお話が出されます。出席者の年齢がだんだん上がっていますので、体のことや病院のことが話の中によくでてきますが、まだまだお元気です。

来年は一人ずつ誘って来れば参加者が増えるという意見がありました。来年は一人でも多く参加してくれることを願っています。

五條支会 (庶務 岡 功)

平素は本会発展にご協力いただき厚くお礼申しあげます。

平成26年度の奈良教育大学同窓会五條支会も無事終了することができました。当日の集合写真ができましたので郵送させていただきます。今後ともよろしく願いたします。



表紙について

7年前に、同窓会出席のため奈良へ行った。山田ホールに入ってみると、ダンスパーティのステップの音が聞こえてきたような…。学大の思い出はもうこしかなかった。

昔日探索に奈良公園を歩いた。やっぱり“飛火野”であった。生涯の友となっ

昭和43年卒 石亀 嶽

た4人組ができたのもここ。ひとりギターを弾いたのもここ。妻と憩ったのもここ。そして、学生時代の心の支えであった大樹は、さらに大きく育っていた。私の心の原風景である。

同窓会だより

(1) 青空に伸びよ！ 楽桜の枝

楽桜会会長 昭和39年卒 松原さおり

「楽桜会」とは音楽専攻者の同窓会で、自分たちで立ち上げ命名しました。そのうちに楽桜混成合唱団も生まれました。音楽棟が桜と楓の中に在った学生時代のみんなの楽しかった印象が再現されました。会員は今も学生時代さながらに歌います。

更に、勉強を続けている会員のために楽桜会

コンサートを開催し発表の場を提供します。これは、若い会員の励みになります。先輩は笑顔で協力を惜しみません。

東吉野「高見ノ郷」の花の山には、楽桜混成合唱団の枝垂桜が植えられました。団員の歌声が“青空高く花のように美しく勢いよく”というのが一同の願いです。

(2) 奈良学芸大学昭和34年一部卒

昭和34年卒 福森 修平

14回目となる同窓会「34会」は、平成27年3月4日(水)「春日野荘」で開かれました。今回19名の参加申し込みがありました。当日は天候にも恵まれ、寒さも和らぎ奈良にも春の訪れを告げているように感じました。開会時刻12時には、出席予定のほぼ全員が揃い開会を宣言しました。今回も遠くは鹿児島、東京、福井等から来られたいつもの仲間には、心から敬服しとても力強く嬉しく思いました。

今回は車椅子が用意されている地下和室で会を行いました。初めに物故者(久野正博君12月2日ご逝去)のご冥福を祈り黙祷を捧げました。挨拶・事務連絡等を行い、向井司君に乾杯の音頭をとっていただき懇談会を始めました。全員が揃ったところで、春日野荘玄関で記念写真撮影を行いました。

今年も一層有意義な楽しい情報交換の会になりますように、久しぶりに一人ひとりにスピーチをしていただきました。現在の病状・家族の様子・健康的な過ごし方・海外旅行の話・大仏鉄道の話等々。今回も島本幸昭君・田辺修一郎君による「泰山木」(島本幸昭作曲)の演奏・合唱もあり心が癒されました。歓談交流で会話が弾み、席を立って杯を重ね、カラオケで歌う時間もなかったようでしたが、賑やかな雰囲気の中で触れ合いの場として、人生の喜びの場として、再会を楽しむことができました。

「お互いに元気でしっかり生きていれば、またお会いできる」こんな言葉を交わし、別れを惜しみながら次回平成28年3月4日(金)を約束して閉会しました。

(3) 昭和33年入学同窓会

昭和37年卒 内藤 眞

平成26年6月24日(火)あやめ館(奈良市)において昭和33年入学同窓会を開催したところ、奈良県内は勿論、遠くは岡山県、三重県などから36名の出席を得て盛大に開催することができました。

幹事の方々の尽力、特に前事務局長杉本彦之氏の熱心な電話勧誘作戦により多くの参加を得たことは大いなる喜びでした。幸い好天に恵まれ写真撮影も無事終わりいよいよ開宴です。

黙祷に始まり、開会挨拶、乾杯と続きます。美味しい料理をいただき、美味しい酒を飲み青春に戻って楽しいときが過ぎていきます。

宴たけなわの頃一人ずつ近況を発表。元気で

参加できたことを喜び合いました。次回は、磯城郡、大和高田市、北葛城郡、葛城市の皆さんの担当であることを確認してお開きになりました。楽しみにしています。



(4) 卒業50周年記念 第6回同窓会

昭和39年卒 山崎 晴久

今年は、私達(昭和39年3月一部卒)の卒業50周年に当たる。その記念の意味をこめて、第6回同窓会(卒業50周年記念同窓会)を平成

26年8月31日(日)に奈良ホテルで開催した。

当日、奈良は勿論、大阪、兵庫、三重から男性11人、女性16人、総勢27人が集まった。受

付で同窓生名簿と事前にほぼ全員によって書かれたメッセージ一覧を配布。一覧には懐旧の情や生き甲斐に加えて、いつの日か私達の多くが直面するであろう闘病、介護、孤独、そして、何より残された時間の大切さが語られている。

はじめに、ホテルの玄関で記念撮影。その後、華やかで落ち着いた館内を案内していただき、上村松園の美人画「花嫁」や「アインシュタイン博士が弾かれたピアノ」にもお目にかかれた。

いよいよ宴会。まず、亡き級友のご冥福を祈って「黙祷」を捧げ、年次代表の挨拶、続いて幹事の音頭で乾杯。和やかに会が始まる。

各テーブルでは、近況報告や思い出話など、50年前に戻り、楽しい会話がはずむ。また、各自のスピーチでは、生き甲斐（趣味、ボランティア、農業、家族など）、健康（体力づくりなど）、社会情勢（広島土砂災害など）といっ

たことをマイク片手に生き生きと語られ、感嘆したり、共感したりとお互いに元気づけられる。かくして、楽しい時間は、あっという間に過ぎてしまう。

最後に、今後もこの会を継続することを確認し、次期幹事を選び次回の再会を楽しみに散会した。

その後事務引き継ぎ。次期幹事一同の相談の結果、次回（第7回同窓会）は、3年後の10月に開催されることとなる。また、私達の最後の仕事として、今回参加できなかった方々に、参加者と同様の文書を送付した。すると、思いもかけず早速お礼の電話やお手紙、お葉書をいただき、心の交流ができて、幹事一同とても嬉しく思った。

今後、健康には十分気を付けて、より多くの人々が次回以降、集まることを切に願う。

（5）第14回 林 宏先生を偲ぶ会

昭和29年卒 西瀬 英夫

平成26年10月12日 台風19号接近で心配されたが曇天。10時JR帯解駅集合。よかった、台風一日遅れで。これも林先生、早瀬、大西氏の“台風チョイ待ち”のお蔭か。遅刻もあって“さあ出発”は、地元帯解田中町在住の服部明氏（S.37卒）

宝寿山龍象寺、浅井住職の「子守唄にも、おびをたばるは子安の地藏奥の院」本尊地藏菩薩、本堂天井の狩野春甫筆による九龍図、広大字池の主弁才天etc、30分ほど熱弁拝聴。

七五三詣り、三連休中のイベント開催中、秋祭りとかぶり子安山帯解寺は超満員。ここでも服部氏と中上武二氏（元帯解小校長42年卒）の顔パス。「観覧料も結構です」帯解寺のいわれ、本尊地藏菩薩像、間近で祈願、伽藍説明も住職ご夫妻「30分では・・・」

もとは楼門造り（今は四脚門造り）の山門で記念写真。

同じ今市町の“奈良豊澤酒造”見学。ここでも服部・中上氏の顔パス。駆け足で製造工程見学。そして“豊祝”試飲、土産つき。12時30分“ロイヤルホテルのマイクロバス”スタート。

都跡小学校前では、“旧都跡役場”を車窓より見学。「9月解体予定だったが保存の声が出てま

だ残っていてよかった。ふれあい会館になる予定」と説明の山本秀樹氏（S.42卒）。13時過ぎ法華寺町の“奈良ロイヤルホテル”着。

2Fのゴールデンルームで和・洋・中セット、ターンテーブル料理で「ご苦労ついでに服部さん乾杯の音頭を」「フリードリンクですので」と研修の中心は、大山徹真氏（S.33卒）。

県指導主事、小学校校長、県小社研会長として活躍された故大西重次氏（S.29卒）、ぶれない奈良の社会科、大西氏の人柄披露。おあと林先生、早瀬氏、大西氏の思い出話続出、小出晃三氏（S.38卒）の歌まで飛び出す雰囲気。ラストは、最年長者森杉美代子氏（S.24卒）の“偲ぶ会で元気に”の話。15時半解散。



（6）大阪市在勤の同窓会を開催

昭和55年卒 藤田 敏朗

大阪市に勤務している小学校教員を中心に同窓会を毎年実施しています。

平成26年度は11月27日（木）午後6時30分より大阪なんばの「まじめや」で47名の参加者で開催しました。この同窓会は20年近く続いています。当初は小学校教員だけでしたが現在では市内の幼稚園、中学校の教員も参加しています。また、数年前より東大阪市、八尾市の先生方にもおいでいただいています。

一年に1回の開催ですので毎年おいでいただ

いている先生方とは一年ぶりの再会を喜び合うとともにこの1年間での話題に話が尽きませんでした。

校種も幼稚園、小学校、中学校と違うのでそれぞれの様子を話し合うのも楽しさのひとつです。

現在個人情報の保護という面で奈良教育大学の卒業生が分からず若い人の参加が呼び掛けにくくなっています。もし、まほろばをご覧の卒業生で同窓会の通知がない方は連絡ください。

(7) 退職後に学んだこと

昭和38年卒 境山 正甫

私は2012年3月に退職して10年間に3種類の仕事に就いた。

最初の3年間は香芝市教育委員会学校教育課指導主事として主に就学に関わる仕事であった。更に学校教育全般、先生方の研修など多岐にわたる仕事を経験した。行政の立場から学校や子供たちを見つめる仕事に一変した。行政という縦社会の組織に組み込まれ少々戸惑った。特別支援に関わる就学指導、教育相談など基礎から学ぶ事ができたように思う。学校現場のいろんな問題に対して行政は決して逃げずに「対話」を大切に解決の糸口を探ろうという姿勢だ。ごく当たり前のようであるが行政に携わる者にとって基本的なことであると実感した。

次の3年間は明日香村の続明日香村史編纂室への勤務である。私が編纂室に就いた時には内容や執筆者などの骨子は決まっていたので執筆者や印刷所との諸連絡、原稿のデータや掲載写真の撮影、借用の手配などが中心であった。そんな中で故網干善教先生、故森井實先生、山崎馨先生など数多くの著名な文化人の方々に親しくしていただいたことは幸いなことであった。

寄せられた原稿には記紀万葉などの古典からの引用も多かった。同室の上司は常にその確認をされていた。口癖のように資料の確認は「必ず原典に当たれ、孫引きはあかん」と言われていた。些細な引用であっても原典に当たらなければいけないことを教えられた。私はこの時を機に万葉集や日本書紀に一層興味を持つようになった。続明日香村史は三巻構成になっていて下巻の現勢編の構成や執筆・校正に関わることが中心だった。現代の明日香の最大の課題は明日香の景観や歴史的風土を如何に守るかということで、特別措置法による明日香村の変化や課題を著していくことであった。そして、今日の明日香村をいろんな角度から知ってもらうために写真を撮りに回ることも多かった。お蔭でこ

こに行けばこんな景色が見られるといったことも知ることができた。

その直後、神戸市にある神戸動植物専門学校非常勤講師として三つ目の仕事に就いた。担当は「里山の生物」である。私の好きなジャンルだったので張り切って仕事に臨んだ。高卒・大学卒の若い人たちに「里山」について講義するのだ。「明日香の里山」を中心に日本の里山の問題を講義するようにした。久しぶりの教壇なので教材研究や資料作りなど入念に行い、楽しいひと時であった。学校の実習地として兵庫県黒川地区に学生たちのキャンプ地があり、明日香村では見られないオオサンショウウオやモリアオガエルなどが生息していて目新しい里山が見られた。

明日香村もそうであるように日本中の里山は、今大変なピンチになっている。そういう問題に気付かせてくれた3年間であった。

10年あまりの就労にピリオドを打ち、今では趣味とボランティアの日々が続いている。

私の趣味はもともと蝶の採集や生態調査・観察である。今も国蝶オオムラサキの飼育や調査を明日香村などで行っている。そのことを明日香村文化協会の機関誌に寄稿したのがきっかけで文化協会の仕事を手伝うようになり、今は会長という大役を引き受けてしまっている。小学校や幼稚園の出前授業、地域の行事などボランティア活動は今も続いている。明日香小学校では現職勤務も含め30年近くオオムラサキの飼育のお手伝いをしている。

明日香村伝承芸能に雨乞いの踊り「飛鳥南無天踊り」というのがあり囃子方の笛を依頼されている。そこから派生して今は篠笛をプロの奏者（井上真美先生）に習い趣味が一つ増えた。また、退職後篆刻を習っている。



● 「史蹟めぐり同好会」一泊研修の旅募集案内

戦後70年を迎える年、戦時を偲ぶ特別企画を下記の日程で開催します。同窓会員と現役学生との交流を深める、同窓会初めて取り組む事業です。仲間を誘って多数のご参加をお待ちしています。

記

■日 時 平成27年9月26日(土)～27日(日)

■見学場所 1日目 善光寺(宿泊) 戸倉上山田温泉長野県上田市／2日目 無言館(戦没画学生慰霊美術館) 国宝松本城「無言館って？」・・・芸術の才能を花開かせる前に戦場で散った画学生の遺作絵画、手紙などを展示した美術館。作家水上勉の息子窪島誠一郎氏の設立(1979)

■問い合わせ 奈良教育大学同窓会事務局(Tel. 0742-21-6101) ■費 用 35,000円 ■募集締め切り 9月4日(金)

研修会だより

第14回公開文化講演会

研修事業委員会 吉田 貴子

平成26年11月15日、同窓会主催第14回公開文化講演会が山田ホールで開かれました。今回の講演は、奈良県教育委員会後援で講師は、奈良教育大学教授文学博士の豊田弘司先生でした。演題は「心の世界—ものをみる心—」です。

○人のところをみる

人のところを探るために、私たちは、いろんな情報を用いています。例えば、表情からその人の感情を読み取ることがありますが、相手の感情を読む力は大切です。この力は、情動知能と呼ばれるもので、社会で成功するためには、この能力が重要であると、最近の心理学の研究では言われているようです。また、外見からその人の性格を推測することもあります。例えば、太っている人は人付き合いが良い等と推測するのです。さらに、色彩連想という心理テストがあります。例えば、恋という言葉から連想する色を答えてもらおうと女子学生はほとんどが、ピンクと答えます。男子学生でもピンクと答える人がいますが、その人は女性性が高いということになるようです。このように表情、外見、色彩等、いろんな方法でその人の心を見ようとするわけです。

○環境がところをつくる

私たちは、自分の周りの環境によって、影響を受けています。興味深い例として、樹木の見える病室の患者さんの方が、樹木の見えない病室の患者さんよりも、鎮痛剤の使用が少なくて済んだという報告があげられていました。心理学でよく知られたことばに、パーソナル・スペースということばがありますが、これは、自分の周りに確保したい一定の空間を意味しています。電車に乗ると一定の間隔をおいて座るのは、このパーソナル・スペースがあるためです。

豊田先生の講演では、以上のような具体的な例を数多く取り上げておられました。そして、講演の最後に、心理学の知見からいくつかの提案をされています。その中で学習に関して印象に残ったものをあげてみますと以下ようになります。



勉強する時には、

①同じ場所で学習（勉強）する。

なぜかという、ある一定の場所と勉強するという行動を結びつけるためです。この結びつきができると、その場所にいくと、すぐに勉強に取りかかることができるのです。

②妨害刺激を排除する。

勉強する机の周りの余計なものを排除することによって、勉強の対象となる書物に集中することができます。

③好きな曲を聴いてから勉強を始める。

好きな曲は、ウォームアップ効果があり好きな曲を聴くことで学習のための準備ができ、やる気が高まります。

④忘れる前に復習する。

人間は、復習しなければ学習した内容を忘れてしまいます。しかし、これ以上、時間が経過したら、忘れてしまうというギリギリの時点で復習すると記憶に残る可能性が高くなります。

教育心理学を専門にしておられる先生のお話を聞いてもっと早く聞かせていただければ、効果的な学習をするところをつくることができたのにと残念に思われた人も多かったと思います。

なお、当日は同窓会員の他、一般市民、大学生、年齢も10代から80代まで、予想以上にたくさん出席してくださり、喜んでいました。

講演後のアンケートの一部を紹介いたします。

- 非常に興味深い内容を、とてもわかりやすくおもしろくお話してくださり楽しい時間でした。
- 心とは？常に考えてきたことにヒントを与えていただいた。今後の勉強や人生の生き方に、参考になることが多かった。
- ふだん何気なく見ているものでも、心に関係しているというのは、本当に不思議。
- 子どもの学習につながる話は、とても興味があった。

● 第14回 一日親睦研修会のご案内 ●

- 日 時 平成27年11月7日（土） 午前8：00出発
- 見学場所 羽曳野市 河内ワイン／岸和田市 だんじり会館／河内長野市 国華園（日本菊花全国大会）
- 集合・出発時刻 奈良（商工会議所前）8：00／天理駅（バス停）8：30／八木駅（南口）9：10
- 親睦昼食会 和食サガミ（岸和田店）《和食膳》
- 奈良着予定 17：20～18：30 ・詳細については、参加者決定後ご案内いたします。
・多数の参加をおまちしております。
- 申し込み・お問い合わせ先 ・奈良教育大学 同窓会事務局 宛
はがきに、住所・氏名・電話・卒業年次を記入の上お申し込みください。
電話 0742-21-6101・FAX 0742-21-6102でも受付可能です。
- 締め切り 10月30日（金）（取り消しは26日必着） ■ 会 費 6,000円 当日集金いたします。

“フレッシュマン” から同窓会へ

奈良の地で — 学び 創造、学び 発信。



平成 26 年卒 中谷 尚美

平成26年4月から長年の夢だった教師として教壇に立ちました。思い返してみれば、どんな学校で、どんな子どもたちと出会い、どんな教師生活をスタートするのか、楽しみもあったが不安が大半を占めていました。

しかし、その不安も子どもたちに出会った瞬間ふっとびました。“ああ、かわいい！素敵な一年が始まる”という思いに変わりました。

日々、子どもたちのキラキラした笑顔に励まされ、教えるだけでなく子どもたちに様々なことを教わりながら今日まで頑張ってきました。大学時代に得た経験や知識は、たくさんあります。私が一番大切にしてきたことは、仲間の大切さです。子どもたちにも、仲間との関わり合いの大切さを伝えていきたいと思っています。子どもたち、そして私自身も、仲間と励まし励まされながら日々を過ごしていきたいです。

同窓会の益々のご発展をお祈りしています。

～キャンパスだより～

☆入学生はどの府県から？（H26年度）

1 奈良県	73名	6 広島県	8名
1 大阪府	73名	7 岡山県	7名
3 兵庫県	28名	7 三重県	7名
4 京都府	24名	9 和歌山県	4名
5 愛知県	9名	9 香川県	4名

(卒業高校所在地で調査)

☆卒業生の進路は？（H25年度卒業生）

教員	幼稚園	4名	公務員	40名
小学校	50名	企業	32名	
中学校	27名	大学院などへの進学	40名	
高等学校	4名			
特別支援学校	7名			
期限付き採用	40名			

資料—2014年大学概要

事務局だより

- 事務局に直通電話を設置しました。ファックスの送受信も可能になりましたので、連絡に活用して下さい。

☎ 0742-21-6101 FAX 0742-21-6102

これまでの大学総務課経由の電話も使用出来ます。☎ 0742-27-9105

- 昨年は300通を超える「まほろば」が、転居先不明で事務局に戻ってきました。転居等で住所を変更された時は、ファックスか電話でお知らせ下さい。
- 会員のご逝去の際に弔電を打つ事業は、昨年度で終了となりました。ご了承下さい。
- 会費納入者が減少しています。会員の皆様のご協力をお願いします。
- 個人情報保護には、万全を期しています。

平成27年度広報委員会委員（五十音順）

北 良夫、倉本政太郎、仲 輝明
中村 利典、橋本 清、松原さおり

編集後記

- 「まほろば」第28号をお届けいたします。今回は「支会だより」「キャンパスだより」「フレッシュマン」からの発信などを掲載し、より多くの会員の皆様に親しんでいただくことを願いました。

- 各地でご活躍されている同窓会員一人一人の尊い活動が奈良教育大学同窓会を支えてくださっています。「表紙について」のコメントは、奈良への懐旧の情とともに同窓会への深い想いを感じます。

- 同窓会活動への物心両面にわたるご支援を、切にお願い申し上げます。会報「まほろば」を、末永く皆様のお手元にお届けすることができるとを念じつつ……。

平成27年7月15日 発行

奈良教育大学同窓会会報「まほろば」第28号

—題 字 故 川淵勝男元会長—

発 行 奈良教育大学同窓会

〒630-8301

奈良市高畑町 奈良教育大学内

☎ 0742-21-6101 Fax 0742-21-6102

☎ 0742-27-9105(総務課経由)

郵便振替番号00900-2-9400

編 集 奈良教育大学同窓会広報委員会

刷 西 印刷株式会社

奈良市南半田中町19-20番地